

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和3年11月29日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		定員とスペースの関係は適切です。個々の特性や課題によって、個室やパーティションの利用をすることで特性に合わせた空間を提供するようにしております。	今後も児童の利用人数や状況に応じた机の配置、スペースの確保に努めてまいります。
	2	○		配置基準以上の職員数、専門職員を配置し、適切に対応をおこなっています。	今後も同様に、適切な人員を確保・配置してまいります。
	3	○		事業所が2階にあるため、職員が必ず付き添い対応をしています。事業所内は床がフラットになっており、活動しやすい環境に配慮しています。机の角が児童の頭や目の高さにあたる児童がおりますので、角力バーを取り付けています。	今後も事業所前の階段は必ず職員が付き添い、出来る限り安全に配慮してまいります。
	4	○		毎日掃除を行っており、感染症防止として来所後すぐに石鹸で手洗い、手指消毒、体温測定を促しています。	空間の除菌を行い、密にならないように工夫をします。また季節に応じた壁面等で心地よく過ごせる環境を作っております。
業務改善	5	○		定期的アンケートにご協力をお願いし、保護者様からのご意見をもとに改善につなげております。	今後も保護者様のご意見をもとにより良い支援が出来るよう業務改善に向けた取り組みをおこなってまいります。
	6	○		自己評価結果はCOMPASSの公式Webサイトで公開しております。	今後も毎年Web上で自己評価結果の公開をおこなってまいります。
	7	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8	○		コロナの影響により機会は減っておりますが、内部・外部の研修には積極的に参加し、参加後は情報共有をおこなっています。	今後も内部・外部の研修には積極的に参加し、職員の資質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	9	○		アセスメントの実施で児童の特性や課題、保護者様のニーズを踏まえ支援計画を作成しています。	今後も適切にアセスメントをおこない、児童の現状や変化、保護者様のニーズを踏まえ支援計画を作成いたします。
	10	○		統一されたアセスメントツールを使用し、子どもの状況や、保護者様のニーズの確認をおこなっています。	今後も統一されたアセスメントツールを活用し、児童の状況や保護者様のニーズを把握してまいります。
	11	○		各職員のアイデアや意見を取り入れ、季節や年齢に配慮した活動をチームで考えております。	チームで話し合いの場を設けて計画を立て、今後も計画に沿った支援をおこなってまいります。
	12	○		個々の成長や特性に応じて、季節を取り入れ、固定化しないよう支援内容や療育プランをチームで考えております。	コロナ感染拡大防止への対応を十分におこない、個々の成長や特性に応じた療育が出来るように努めてまいります。
	13	○		平日は連続性の課題を中心に行い、土曜日・長期休暇はそれぞれのニーズに合わせ、きめ細やかな課題設定をしています。	今後も平日や土曜日・長期休暇での活動、療育内容を工夫し、児童が楽しく取り組めるよう配慮してまいります。
	14	○		個別活動と集団活動を個々の児童に必要な支援内容に応じて計画し、取り入れています。	保護者様と職員、関係機関等と連携を取りながら個々に合った支援計画を作成してまいります。
	15	○		毎日、当日の送迎や療育の担当を決め、支援の内容や役割分担について確認をおこなっています。	毎日、支援の内容や役割分担を必ずおこない、指導員が常に支援計画を確認し、共有ができる様に療育ファイルの中に入れて共通理解を持って支援できるよう努めてまいります。
	16	○		当日の記録を毎日終了後におこなうことで振り返りを行っています。	送迎や休みなどで参加できなかった職員にも周知できるように業務連絡ノートを使い、共有してまいります。
	17	○		毎回記録を書き、何か変化が見られた場合、情報共有しています。	職員全員が必ず記録を行い、支援の検証や改善につなげてまいります。
	18	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをおこなっています。	今後も、定期的に職員間でも計画の見直しの必要性に関して考えてまいります。
関係機関や保護者との連携	19	○		ガイドラインに沿った上で保護者様と面談をおこない、ガイドラインの内容から必要な項目を選択し、支援内容を設定しています。	継続してガイドラインの必要な項目を適切に選択し、組み合わせ具体的な支援内容を設定してまいります。
	20	○		担当者会議には児童発達管理責任者が参加しています。	職員間で情報共有をおこない、担当者会議へは児童発達管理責任者が参加し、情報提供をおこなってまいります。
	21	○		定期的な会議の開催や、送迎時に直接担任の先生との連絡調整に努め、情報共有を行っています。	今後も継続して連絡調整を行い、密に連絡が取れるよう心がけてまいります。
	22	○		現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23	○		児童が在籍していた幼稚園、保育園等との情報共有をおこない、情報共有と相互理解を促しています。	今後も関係機関と連携して情報提供と相互理解を図ってまいります。
	24	○		現在までに卒業した児童はいませんが、いつでも情報共有をおこなえるよう準備に努めております。	今後は、関係機関との連携がとれるような体制づくりに努め、移行先での活動に役立てることができるよう努めてまいります。
	25	○		コロナの影響もあり、回数は減りましたが機会があれば助言や研修を受けています。	案内をいただいた際は積極的に参加し、専門機関との連携を図ってまいります。
	26	○		コロナの影響もあり、交流する機会はありませんでした。	コロナ収束後は、機会を作り保育園や認定こども園、幼稚園等との交流を検討してまいります。
	27	○		今年度はコロナの影響で、協議会の開催がありませんでした。	コロナの収束後は研修会開催された際は参加したいと思っております。
	28	○		送迎時、一日の様子についてお伝えし、連携を図っています。	連絡帳や電話にて日々の利用状況、課題について相談を行い、共通理解できる様に努めてまいります。
保護者への説明責任等	29	○		保護者様から相談を受け、児童との関わり方についてなど助言やご提案をさせていただいています。	必要に応じて面談を行い、家族支援もおこなってまいります。
	30	○		契約時に、児童発達管理責任者より丁寧な説明をおこなっています。	契約時に丁寧に説明し、いつでも問い合わせができる様に連絡先をお伝えしてまいります。
	31	○		悩みについて傾聴し、助言や提案を心がけております。	保護者様のお悩みに寄り添い、適切な助言、適切な支援が出来るように対応をおこなってまいります。
	32	○		コロナの影響もあり、開催出来ておりません。	コロナ収束後、ご意向を伺いながら保護者様同士の連携を支援したいと考えております。
	33	○		職員間で情報共有をおこない、迅速に対応できる体制を整えています。	今後も迅速丁寧に対応できるように体制を整えてまいります。
	34	○		公開方式にて定期的な情報発信をおこなっています。	今後も公式Webサイトで定期的に情報の発信をおこなってまいります。
	35	○		個人情報、書類を鍵付き書庫にて管理しております。	個人情報の取り扱いには十分注意し、管理にも配慮してまいります。
	36	○		個人の特性に合わせ、分かりやすい情報伝達手段をとり、分りやすい情報発信を図ります。	今後は情報伝達がスムーズにおこなえるよう意思疎通と話し合いのうえ、より意思疎通を確保してまいります。
	37	○		交流の機会はありませんでした。	コロナ収束後、機会があれば企画を検討したいと考えております。
	非常時の対応	38	○		誰でも見ることが出来る場所に掲示し、職員や保護者に周知しております。
39		○		定期的に訓練をおこない、災害に備えております。	避難訓練は、年間計画を立てて実施し、その他必要な訓練もおこなってまいります。
40		○		外部の虐待防止研修には必ず参加し、それを事業所内研修で周知しております。	今後も積極的に社外の虐待防止への研修へ参加し、職員全員で考えてまいります。
41		○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしております。	身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、保護者様、関係機関と十分な話し合いのうえ、了解をいただき、計画書にも記載するようにいたします。
42		○		保護者様からの聞き取り情報を全職員で共有し、一覧表を作成しております。	必ずアセスメントシートの確認をおこない、指示書に基づく対応に努めてまいります。
43		○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しています。	事業所内でミーティングや勉強会をおこない、共有してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。